

令和2年度  
大手前通りエリア魅力向上推事業  
報告書  
【概要版】

2021年3月

# 令和2年度大手前通りエリア魅力向上推進事業報告書【概要版】

## 目的

姫路駅から姫路城へと続く大手前通りのハード整備が、令和2年3月末に完成しました。これまで「歩いて楽しい、大好きなお城への道」～「ひと」が集い「まち」とつながる大手前通り～をコンセプトに、駅からお城への緑・光・にぎわいの連続性を確保し、人が通行するための歩道から、人が滞留し楽しむための魅力あるストリートになるよう整備を進めてきました。

ハード整備が完成した一方で、ソフト面での取組みとして、令和元年度から本事業による公民連携の事業が始まりました。この取組みでは大手前通りのコンセプトを実現させるとともに、エリア価値を向上させることを目指して、民間を主体とした持続可能な推進組織等の仕組みづくりと利活用マネジメントに取り組んでいます。

令和元年度には推進組織として「大手前みらい会議（OMK）」を立ち上げ、令和元年11月には大手前みらい会議が主体となり1ヶ月間、大手前通りの活用に向けたチャレンジ（社会実験）を実施しました。

令和2年度は、大手前通りの将来ビジョンの検討や大手前みらい会議の運営支援、道路活用制度に関する検討を中心として、公民が一体となってプロジェクトを推進してきました。

## 大手前通りの将来イメージ

### エリア個性の『にじみ出し』が彩る大手前通り

大手前通りの沿道建物1階の用途が通りに開かれ一体的に活用されることで歩いて楽しく、日常的に人が集まり憩う空間になりエリア価値が向上することを目指します。

### 現状の課題

#### 通りと建物の連携がなく、歩いて楽しい場所になっていない

大手前通りは質の高いハード整備が出来上がっている一方で、大手前通り沿道の建物低層部には銀行やオフィスが多く、飲食店や物販店といったサービス系用途が少ないため歩いていても賑わいのある場所にはなっていません。また、通りの使い方や沿道に対する関わり方のデザインができていないことが現状の課題です。

### 将来イメージ

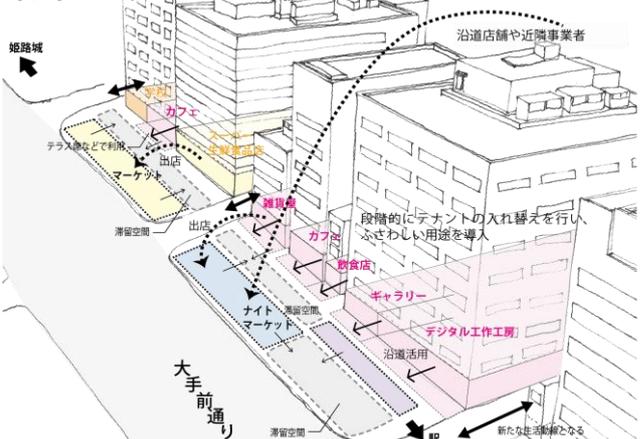
#### 日常的に賑わい・憩う空間になるために、沿道建物との連動が必要

大手前通りが日常的に賑わい・憩う場所になるためには、大手前通りのみでなく沿道建物との連携が必要です。将来的には沿道建物の1階にサービス系用途などが入り、通りにイスやテーブルを設置することで、沿道建物やテナントの方が大手前通りを使いこなしていくことを目指していきます。

### 現状



### 将来



# 令和2年度大手前通りエリア魅力向上推進事業報告書【概要版】

## 事業の内容

令和2年度は、将来ビジョンの検討や大手前みらい会議の運営支援、道路活用制度に関する検討を中心として、事業を進めてきました。

本概要版については下記の項目に沿って整理していきます。

1. 将来ビジョンの検討
2. 推進組織の運営支援
3. 社会実験の企画、実施、分析
4. 道路活用スキーム検討
5. 情報発信と広報支援

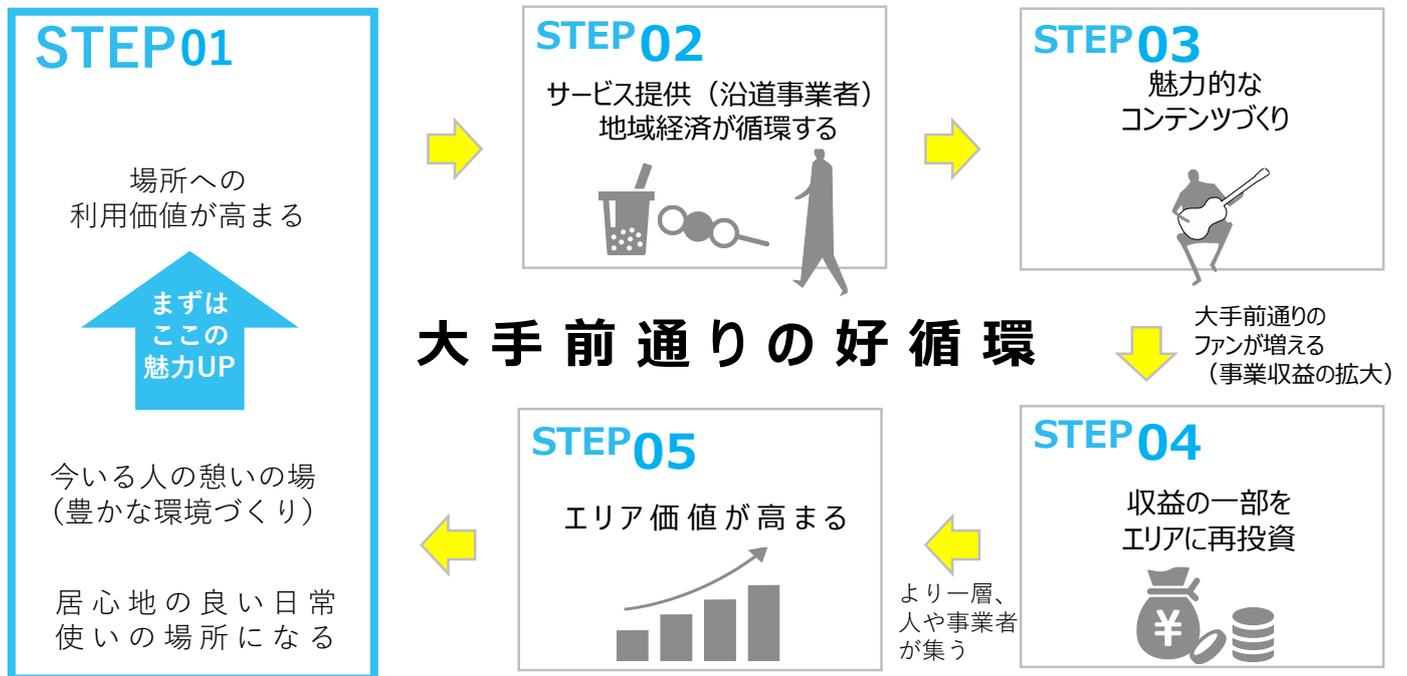
## 1 将来ビジョンの検討

大手前みらい会議（以下、OMK）の将来ビジョン策定に向けて、大手前通りの単なる利活用ではなく、今後の沿道の建物更新や沿道建物1Fの用途変更と道路空間の運営を結び付けるプロセスや方法について提案し、あらためて姫路市としての長期方針の検討を実施しました。

大手前通りの建て替え問題、地下駐車場の状況については、広く専門業者へのヒアリングを実施し、シミュレーションを行いました。また、姫路市として、諸条件などを事前に整理する必要があったことから、市の内部整理を支援しました。OMKの明確な役割については、市からの長期方針説明・提案したうえでOMKと議論しながら進めていく必要があります。

庁内合意形成の支援について、今年度は当初よりOMKの会議に庁内関係課に参加してもらった状況を整え、随時と連携を取りながら運営、進行し、庁内調整会議後など別途打合せが必要な場合は、随時担当課と議論を重ねました。

## 大手前通りの目指していく段階的なステップ



安心安全な  
道路整備

現状

魅力向上の取組み方針

段階的なステップ

まずは、大手前通りが憩いの場として利用されることを目指し、大手前通りの利用価値を高め、人が居る状況を段階的につけていきます

# 令和2年度大手前通りエリア魅力向上推進事業報告書【概要版】

## 2 推進組織の運営支援

令和2年度は、昨年度の推進状況を踏まえ、OMKメンバー以外の幅広い方々と議論できるように、周辺エリアの方々（商店街等）との連携体制を強化しました。また大手前通り街づくり協議会の正副会長に加え、実際に企画を立案し実働できるチームをつくりOMKを2層構造とすることも含め、今年度の実施方針について、大手前通り街づくり協議会の総会にて承認を得て、体制構築を行いました。

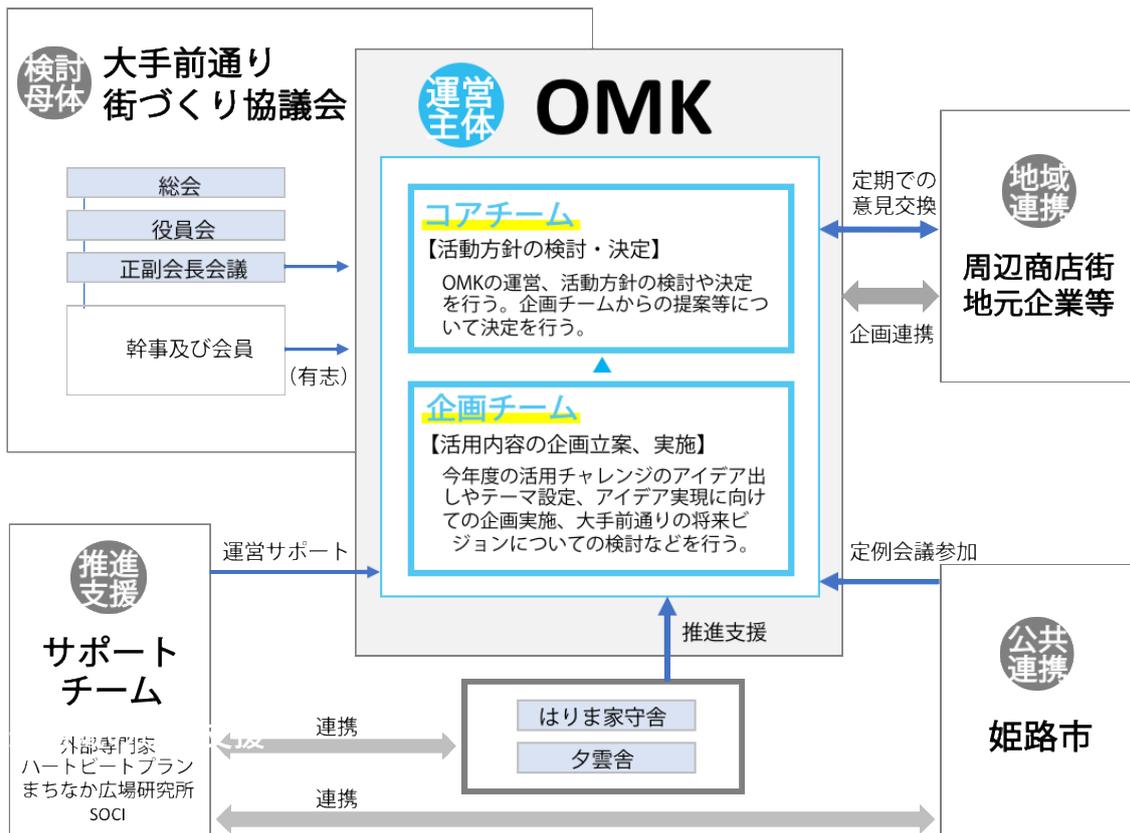
具体的には、OMKをコアチームと企画チームの二層構造とし、コアチームには沿道以外のキーパーソンに、企画チームには大企業の経営層から若手社員まで、広がりを持てるメンバーに参画していただきました。

また、企画チームは通常の会議形式ではなく、専門家がファシリテーターとなり、ワークショップ形式で参加者の意見が出やすい状況を構築しました。今年度はOMKコアチーム会議（4回開催）、企画チーム会議（8回開催）、OMK合同会議（1回開催）を実施し、社会実験の実施内容について、またデザインルールや維持管理、運営について各会議にてOMKメンバーと議論を行い、実施に至ることができました。※コロナの影響もあり予定していた会議2回分は中止としています。

今後、OMKの事務局も含めた自立体制を構築していく必要がある。

## OMKの運営体制

今年度はOMKをコアチームと企画チームの二層構造にしました。



### OMKのメンバー

#### コアチームメンバー

岡本 一 (株)大陸 代表取締役社長  
 名田 和由 (ヤマサ蒲鉾(株) 代表取締役社長)  
 新井 康彦 (株)御幸苑 会長  
 前川 裕司 (認定NPO法人コムサロン21 理事長)  
 玉田 恵美 (NPO法人姫路コンベンションサポート 理事長)  
 米谷 啓和 (一般社団法人ひとネットワークひめじ 理事)  
 池尻 康則 (白鷺町自治会長/停主)

#### 企画チームメンバー

岡本 一 (株)大陸 代表取締役社長  
 名田 誉 (ヤマサ蒲鉾(株) 専務取締役)  
 瀬川 典弘 (美樹工業(株) 取締役 導管事業本部 本部長)  
 福田 佳史 (まねき食品(株) 常務執行役員 事業統括部長)  
 松本 祐司 (株)MISTRAL 代表取締役)  
 酒井 一哉 (神姫バス(株) 事業戦略部 地域マーケティング課長)  
 基川 恵美子 (JR西日本アーバン開発株式会社 姫路営業部 部長)  
 作花 晃平 (JR西日本アーバン開発株式会社 姫路営業部 主任)  
 河野 果奈 (JR西日本アーバン開発株式会社 姫路営業部)  
 宮内 里彩 ((株)ダイネンヒューマンplus)  
 高月 和義 (大阪ガス(株) 姫路地域支配人)  
 山納 洋 (大阪ガス(株) 近畿圏部 都市魅力研究室 室長)  
 池部 治 (大阪ガス(株) 近畿圏部 兵庫地域共創室 副課長)

# 令和2年度大手前通りエリア魅力向上推進事業報告書【概要版】

## 活用チャレンジ期間

### OMK コアチーム・ 企画チーム会議開催概要

	2020年度					2021年度										
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月				
OM会議 コアチーム 企画チーム	7/13 ①	8/4 ②	8/25 ③	9/14 ④	10/12 ⑤	10/19 ⑥	11/5 ⑦	11/16 ⑧	12/5 ⑨	12/11 ⑩	1/20 中止	2/8 中止	3/9 ⑪	5/23 オリ ンピ ック 聖火 リレー		
活用チャレンジ 企画	活用チャレンジ 方針検討		方針決定		空間デザ イン決定	準備		許認可	関係者調整	制作物準備	オープ ンギ & 状況 確認	効果測定	現場状況 確認等	中間検証	反映	振り返り
	SNS等による広報発信															

### OMK会議の議論内容（抜粋）

#### 大手前 み会 議 News Letter #3

2020年10月発行

開催レポート

2020年第2弾活用チャレンジ  
実施に向けてのこれまでの取組み

大手前通りが  
居心地の良い  
日常使いの場所へ

昨年度の活用チャレンジ「ミチミチ」を経て、大手前通りにはそもそも人が少ないということがわかりました。そのため、今年度は大手前通り周辺の方々にとって大手前通りが憩いの場として利用されることを目指し、段階的に人が居る状況をつくり、大手前通りの利用価値を高めていきます。

開催概要  
(予定)

実施期間及び時期：2020年12月～2021年5月(予定)

キーワード

- 長期間の活用チャレンジ
- 日常の過ごし方のスタイル提案
- 実施場所を絞り、空間の質を高める
- 滞留促進の空間+非収益性コンテンツ など

コアチームメンバーの皆さま

企画チームメンバーの皆さま

企業チームメンバーの皆さま

※ 頁：OMK  
※ 掲載：(株)イマジンデザイン / 株式会社ハートビート / フランチャイズ / 株式会社 / SOC株式会社

#### 第1回 企画会議 7月13日開催

■当日出たアイデア

■誰に向けて(Whom)  
近隣ワーカー、近隣住民、家族や親子、カップル  
企画チームの皆さんから上記のアイデアが出ました。大手前通りに日常的に人や生活している人に対して活用される方向性が検討されました。

■何があれば(What)  
大手前通りに何かあればいいかについては、多様なアイデアが出ました。中でも得票数の多かったものとしてはお酒が飲める場所が欲しいというアイデアです。その他では、休憩できる場所や座る所があるという空間的な設えのアイデアも多岐にわたりました。

■どのように使われている(How)  
大手前通りがどのように使われているのかがいかにについては、靴が脱げる場所にしたというアイデアが一番共感が得られ、休憩・休憩に関する活用が支持されました。その他では仕事に関する活用のアイデアも出ています。

#### 第1回 コアチーム会議 日時：2020年9月14日(月) 15:30～17:00 場所：カマタビル1F

- 1 周辺組織との連携について  
情報共有先(右図参照)
- 2 活用希望者の募集について  
周辺(近隣や市内)等からも活用希望者を募り、今後大手前通りのマネジメント主体となり得る人材や組織の発掘も目指してはどうかと提案がありました。(その場合、希望者自身で設置物等の空間を期間中マネジメントできる人物や組織に限定)
- 3 商店街への案内サインについて  
商店街連合会として、大手前通りに商店街への案内サインや看板を設置することができないか別途検討されています。今後、設置について要望があり内容が本事業と合うようであれば、今年度の活用チャレンジにおいて連携を検討してみたいとの提案がありました。

#### 第2回 企画会議 8月4日開催

【アイデアの整理】  
アイデアを下記に基づいて整理

1. 各ターゲットを段階的に整理(毎日いる、平日はいる、週末はいる、学校帰りや週末はいる)

2. これまで出てきたアイデアをもとに各ターゲットに対するキーワードを整理

3. 各ターゲットに対して、必要最低限の空間要素を整理

また、活用チャレンジは社会実験であるため、効果測定や検証を行うことができるように要素を分割して整理しました。

ターゲット：学生 → 近隣ワーカー → 家族 → カップル

キーワード：学生(たまれる、遊べる、勉強できる)、近隣ワーカー(ランチ、ミーティング、アフター5)、家族(安心安全、ゆつくりできる、遊べる)、カップル(スポット利用、ゆつくりできる、賭れる)

最低限必要な空間要素 ※記号は右記参照

A 遊べる、B 食べる、C 憩う、D 語らう

設置物：L型ベンチ、可動イス、テーブル、テーブルセット、Wi-Fi、テーブルセット、榻敷、掲示板など(囲まれ感)

#### 第3回 企画会議 8月25日開催

空間デザイン  
現在検討中

実施エリア1：ファミリーマート、つきまほ

実施エリア2：西松屋、三木美田里

実施エリア3：ヤマサ、ボンマルシェ

キーワード：手が掛からず多様性を生むことができる常設性のあるもの

ターゲット：学生

設置物：Wi-Fi、サイクルラック、足湯

キーワード：バス待ち空間の活用、スタンディングの利用

ターゲット：広く利用してもらおう(特に決めない)

コンテンツ：バス停前でスタンディングテーブル、アウトドアMTG

設置物：スタンディングテーブル、緑のある番用ベンチ

キーワード：北側：滞留ができ寝そべって食べる場、南側：飲食系利用

ターゲット：平日：学生や近隣ワーカー、休日：家族やカップル

コンテンツ：滞留できる場、飲食の提供

設置物：寝そべって食べるベンチ

## 3 社会実験の企画、実施、分析

令和2年度の社会実験の内容については、昨年度の結果を踏まえ、滞留施設や休憩施設を設け、段階的に人が居る状況をつくるため、長期間で実施することを目的として、OMK会議にて企画チームで内容を練り、コアチームで承認を得た上で実現に至りました。昨年度とは異なり長期間の実施であることから、許認可協議のハードルは上がりましたが、その意義や方法の検討を重ね、社会実験に至りました。

今年度の社会実験は長期かつ設置物も大掛かりになることから、OMK会議での検討段階から市の関係課も参加し、常に状況を共有しつつ連携を図り、スムーズに合意形成を図れたことで、許認可についても迅速な手続きが可能となりました。

設置物については、日常的に沿道事業者が管理を行えるよう、什器類をオーダーメイドで設計・制作しました。植栽は地元の事業者と連携を図って管理のサポートを受ける、学生提案でストリートファニチャーを制作するなど、外へのつながりも構築できました。特に美樹工業前の学生提案のストリートファニチャーに関しては、沿道事業者の民間資金も用いて制作しています。

今年度の社会実験では、イベント実施の際に提出が必要な道路使用の許認可手続きにおいて、フォーマットを統一し管理しやすい資料を作成しました。昨年度の実験を踏まえ、イベントの出店要項やデザインルール、利用者申請フォーマット等を作成し、実験中にOMKの今後の運営を見据えた試行を行っています。

大手前通り沿道の飲食店や事業所等において観光客や来街者へトイレの貸出に協力を得られる事業者を募り、社会実験にあわせ試行的に実施し、今後の実現可能性も含めた検証を行うため、OMKメンバーである大手前通り沿道事業者（2社）と協議をしましたが、建物1階に入居するテナントと利用者間のトラブル発生の際の対応や、器物が破損した際の補償などが懸念事項としてあがり、試行にまでは至りませんでした。

## 社会実験実施に向けたOMK会議の様子

活用チャレンジ「ミチミチ」に向けた検討を7月からスタートし、月1回のペースで会議を開催し、OMK企画チームの皆さんで意見を出し合いました。

出た意見に全員で投票を行い、意見を集約しました。



専門家チームが意見を集約していきました。



グループに分かれてプレストミーティングを行いました。



実際に設置物が置かれる場所でも検討を行いました。

# 令和2年度大手前通りエリア魅力向上推進事業報告書【概要版】

## 社会実験の概要

### ◆ミチミチのテーマ

## エリア個性の『にじみ出し』が彩る大手前通り

将来的には大手前通りの沿道建物と連携し、建物1階の用途が通りに開かれるような環境や仕組みづくりを進めることで、大手前通りが歩いて楽しい通りになることを目指しました。そのためには、段階的にステップを踏んで大手前通りの好循環を生んでいく必要があります、その第一ステップとして、今年はずは、大手前通りに日常的に人が集まり憩いにくつろげる空間を創出していくこととしました。

### ◆実施期間

2020年12月5日(土)～2021年3月31日(予定)

### ◆コンセプト

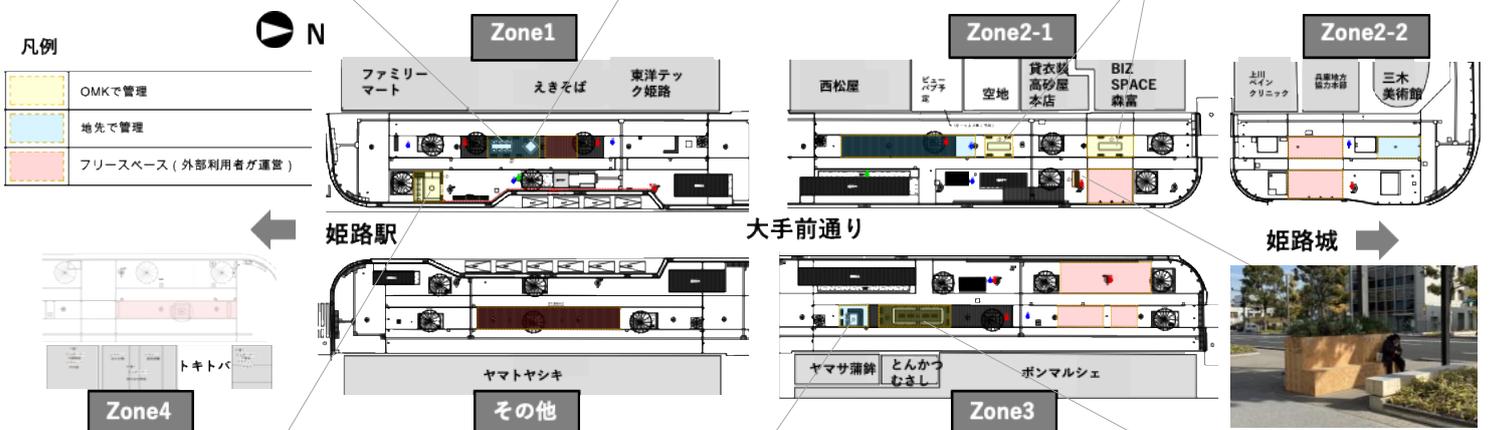
## 「大手前通りが居心地の良い日常使いの場所へ」

昨年度の活用チャレンジ（社会実験）を経て、大手前通りには滞留している人がそもそも少ないということがわかりました。そのため、市民の皆さまや大手前通り周辺の方々に、姫路のメインストリートである大手前通りが憩いやくつろぎの場として利用されることを目指して、滞留施設や休憩施設を設け、段階的に人が居る状況をつくり、大手前通りの利用価値を高めていきます。

### ◆方針のキーワード

- ・ 日常の滞留行動の誘発
- ・ 長期実施による利用実態の把握
- ・ 日常の過ごし方のスタイル提案
- ・ 実施場所を絞り、日常のオペレーションを検証
- ・ イベント的な要素はあくまでプラスα
- ・ 滞留促進の空間+非収益性コンテンツ
- ・ OMKが責任を持って運営できる規模、範囲での企画  
(将来的にも持続可能な取り組みとしていくため)

## 社会実験の実施エリアと設置物



# 令和2年度大手前通りエリア魅力向上推進事業報告書【概要版】

## 様々な利用のされ方

これまで市民の皆さんによっていろんな使い方が見られました。

「大手前通りが居心地の良い日常使いの場所へ」という令和2年度のミチミチのコンセプトを実現するために、大手前通りに滞留施設や休憩施設を設けました。日常的に沿道事業者が管理を行えるよう、什器類をオーダーメイドで設計・制作しています。植栽は地元の業者と連携を図って管理のサポートを受ける、学生提案でストリートファニチャーを制作するなど、多くの方の協力のもと企画を進めてきました。

学生による  
デコレーション



イベントの  
出店場所  
として利用



アートとして  
設置物を活用



えきそばの  
飲食場所  
として利用



休憩場所  
として利用



高さを活かした  
遊び場所  
として利用



掲示板の  
メッセージ  
書き込み



# 令和2年度大手前通りエリア魅力向上推進事業報告書【概要版】

## 効果測定

令和2年度の社会実験では大手前通りが地域の人々に憩いの場として利用されることを目指し、大手前通りの利用価値を高め、人が居る状況を段階的につくることを試みました。また大手前みらい会議（OMK）が持続的に運営できる仕組みを見据えた方法を検討、実施しました。

### ◆全体傾向

#### アクティビティについて

滞留空間を設置したことで実験前に比べアクティビティの総数が増加し、実験中の休日は待合せ行動が実験前の休日に比べ多く発生しました。これは長期間における社会実験の取組の結果、待合せに使用されるような認知を獲得し、居場所として認知されはじめた結果と言えます。また実験中の休日に特徴的なアクティビティとして、「子供の遊び」が挙げられ、特にボンマルシェ・とんかつむさし前の滞留空間+芝生で子供の遊びが多くみられました。これは滞留空間の設えによるものであるが、床を上げ空間的にエリアを分節し、かつ周囲のベンチに囲まれる空間であることで安全性が担保されアクティビティが発生したと考えられ、本実験では一定の安心安全な環境づくりが出来たとと言えます。また実験中の休日にはグループ利用が多くみられコミュニケーションの風景も生まれました。

#### 滞留時間について

平日休日ともに実験中では総滞在時間が約2.4倍増加し、滞留空間を設けることで人々の居場所として利用されたことがわかりました。平日休日で分けてみると、実験中の平日では多くの滞在時間が昼に集中しておりランチタイムでの休憩等に利用されました。一方で実験中の休日のボンマルシェ・とんかつむさし前では13～15時に多くの滞在時間が発生しており、これは食べ歩きでの利用や子供の遊びなどとの関係があると推察されます。

#### 沿道事業者前の使い方の検証

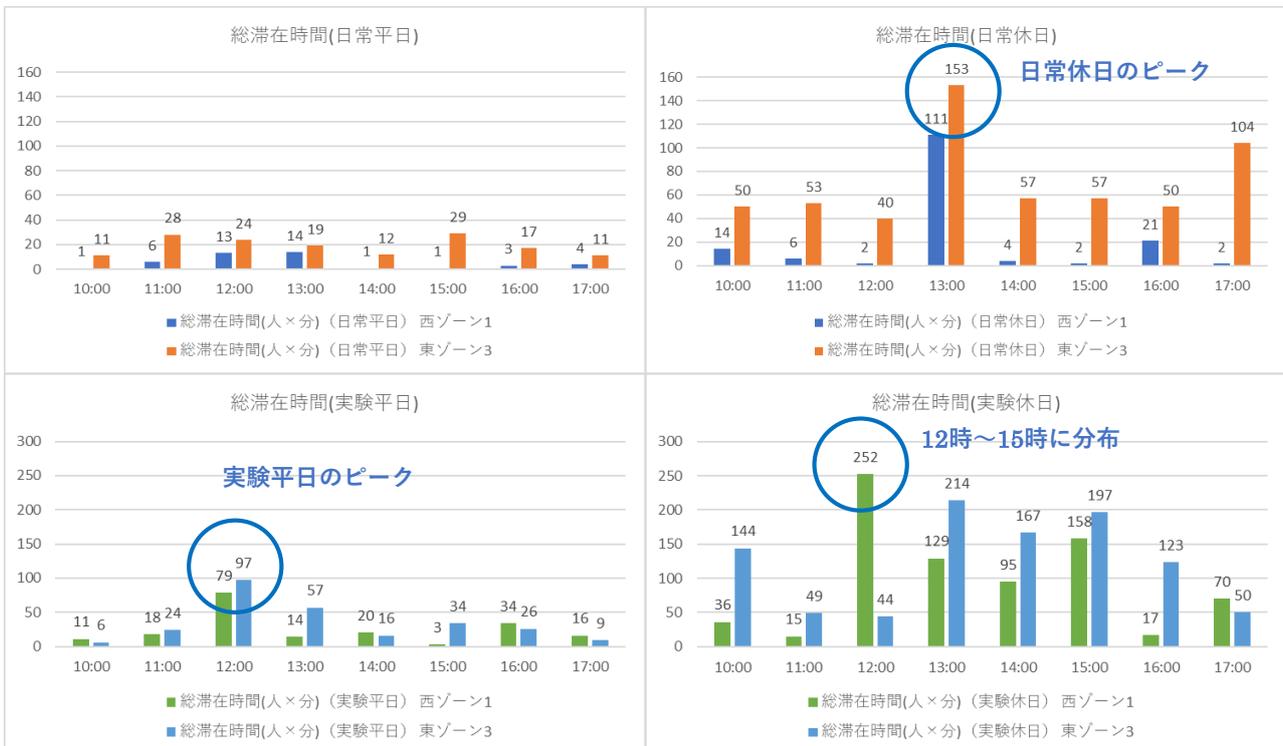
実験中に設置物の維持管理を実施している沿道事業者（ヤマサ蒲鉾・まねき食品）へのヒアリング調査より、日常的な維持管理は特に問題なく実施できていることがわかりました。設置物のデザイン検討の際に維持管理の手間がかからないものとして設計し、維持管理する事業者の意見を取り入れた効果があらわれていると言えます。また毎日の出し入れが必要な椅子についても軽くスタッキング可能な丸椅子を採用したことが沿道事業者の負担を軽減し、毎日の無理のない維持管理を可能にしています。

## ■滞在時間調査

### 1)総滞在時間（西ゾーン1・東ゾーン3）

日常平日総滞在時間：194分、日常休日総滞在時間：726分

実験平日総滞在時間：464分、実験休日総滞在時間：1760分



## 4 道路活用のスキーム検討

令和2年度の社会実験は長期間であるため、デザインルールの素案を作成し、社会実験期間中もデザイン等の検証をOMK会議で実施し、改善点などの整理を行いました。

また歩行者利便増進道路制度に関する国の検討状況を市と共有し、国の動向や制度の比較も含め、市の道路管理者との意見交換を行いました。また、今後は用途誘導やデザインルール等の制度設計に向けた検討を進めていくための、地元不動産や銀行へのヒアリング調査を実施（計14社）し、その結果をもとに長期的な建物更新や用途誘導、建替えの事業性の検証（利回りの検討）、道路空間の活用などの検討を行いました。

大手前通り  
が全国初

### 図. 大手前通りを歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）に指定 （姫路市記者発表資料）

ほこみちは、国土交通省が道路法の一部を改正する法律（令和2年5月27日公布、11月25日施行）により、にぎわいのある道路空間創出のために創設した制度です。これまではにぎわいのある道路空間にするための位置付けがなく、整備の規定、技術的ルールが定まっていなかったところを、地域を豊かにするにぎわいのある道路空間とすることが可能となるよう革新的な法整備がなされました。

### 大手前通りの景色が変わります！ 〈『みち』から『まち』を活性化〉

大手前通りにおいて、  
全国で初めて歩行者利便増進道路指定を行いました。

〈これまでの大手前通り〉

車が走るための通り  
人が歩くための通り  
姫路城に行くための通り



〈これからの大手前通り〉

人がくつろぐ通り  
行きたくなる通り  
賑わいのある通り

歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）制度とは？

〈過去の考え方〉

交通機能重視  
NO! 食事施設

規制緩和

〈制度を使えば〉

まちに賑わいを  
OK! オープンカフェ



大手前通りにおける社会実験「ミチミチ」の様子（R元.11）

道路も『ニューノーマル』の時代へ  
※ニューノーマル・新しい生活様式



問合せ先 姫路市建設局道路建設部街路建設課 黒林・内藤 TEL: 079-221-2613 FAX: 079-221-2677  
姫路市建設局道路管理部道路管理課 松本・藤花 TEL: 079-221-2648 FAX: 079-221-2677

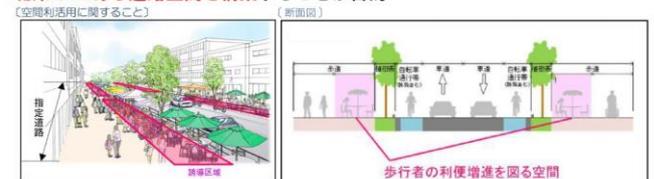
### 歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち制度）の指定について

道路法の改正（R2.5.27公布、R2.11.25施行）により創設された“歩行者利便増進道路制度”を本市のシンボルロードである大手前通りにおいて活用するため、全国で初めて歩行者利便増進道路の指定を行いました。

#### 制度概要

##### (1) 目的

歩行者の安全かつ円滑な通行を確保しつつ（前提条件）シンボルロード、駅前通り、観光アクセスルートなどにおいて（道路指定）歩行者の滞留空間を確保し（誘導区域）公募により選定した事業者（占有者）が計画する利便を増進する施設等の設置を必要に応じて認め（最長20年の占有）賑わいのある道路空間を構築することが目的



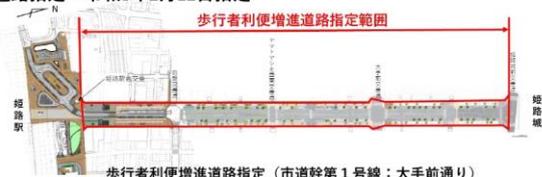
制度活用イメージ図（国土交通省HPより）

##### (2) 歩行者利便増進施設等

- ① 広告塔や看板など景観形成に寄与するもの
- ② ベンチや街灯などの工作物で利便増進に資するもの
- ③ 標識、旗ざお、幕など利便増進に資するもの
- ④ 食事施設、購買施設など利便増進に資するもの

#### 本市の取り組み

##### (1) 道路指定：令和3年2月12日指定



歩行者利便増進道路指定（市道幹第1号線：大手前通り）

##### (2) 今後について

##### 【第1段階】令和2年度

- ・歩行者利便増進道路指定
- ・利便増進誘導区域指定

##### 【第2段階】令和3年度

- ・公募占用指針の策定
- ・公募占用指針に基づく公募、審査選定

##### 【第3段階】令和4年度～

- ・道路占用許可
- ・事業者による占用開始

# 令和2年度大手前通りエリア魅力向上推進事業報告書【概要版】

## 5 情報発信と広報支援

昨年度の社会実験を踏まえ令和2年度の社会実験はイベントではなく、地域の人々の日常的な利用を目的としたものであることから、チラシやフライヤーを用いた広報ではなく、SNSでの発信や関係者へのニュースレターの発行などを実施しました。SNSについては広報チームを作り随時更新を行い、また内部広報としてのニュースレターは定期的に発行しました。今後も大手前通りが地域の人にとって日常的に使われる場所となることを目指すとともに、広く市民や観光客の皆さまの関心を高めるような広報展開を検討していく必要があります。

### ニュースレター

OMKでの議論や会議の風景、活用チャレンジがスタートしてからの現地での状況の報告等、関係者の皆さんに広く活動の周知ができるようにニュースレターを作成しました。

2020年度報告予定  
2020年12月5日  
2021年3月31日

大手前みらい会議  
NewsLetter # 2020\_1

大手前通りが居心地の良い日常使いの場所へ

OMKの目的 大手前通りのエリア価値の向上/魅力の向上  
OMKは今年度もより魅力的な大手前通りの実現に向けて、将来ビジョンをつくり、具体化するためのプランも検討していきます。



企画チーム会議

TOPIC ●ビジョン ●第1～6回 企画チーム会議レポート  
●第1回～第3回 コアチーム会議レポート ●今年の活用チャレンジ

2020年度報告予定  
2020年12月5日  
2021年3月31日

大手前みらい会議  
NewsLetter # 2020\_2

大手前通り活用チャレンジ2020「ミチミチ」が  
いよいよスタート!

OMKの目的 大手前通りのエリア価値の向上/魅力の向上  
OMKは今年度もより魅力的な大手前通りの実現に向けて、将来ビジョンをつくり、具体化するためのプランも検討していきます。



TOPIC ●ビジョン ●12/5(土) 大手前通り活用チャレンジ2020「ミチミチ」がスタート!  
●企画チーム会議第8回

2020年度報告予定  
2020年12月5日  
2021年3月31日

大手前みらい会議  
NewsLetter # 2021\_1

コロナ禍における大手前通り活用チャレンジ2020  
『ミチミチ』の可能性

OMKの目的 大手前通りのエリア価値の向上/魅力の向上  
OMKは今年度もより魅力的な大手前通りの実現に向けて、将来ビジョンをつくり、具体化するためのプランも検討していきます。



TOPIC ●ビジョン ●コロナ禍における「ミチミチ」の今 ●ミチミチで結局なんなの?

2020年度報告予定  
2020年12月5日  
2021年3月31日

大手前みらい会議  
NewsLetter # 2021\_2

賑わうミチミチ、集まる事例。

2020年12月5日よりスタートした大手前通り活用チャレンジ2020「ミチミチ」、年末から新年に向け、コロナ禍の影響で難題を迎えておりましたが、2月よりイベントが実施され、それに関連したSNSの投稿が盛んに行われ少しずつ賑わいが生まれてきました。また、大手前通りで生まれる新たな可能性を感じる月となりました。

大手前みらい会議NewsLetter2月号。  
春の芽吹きとともに明るくニュースをお届けします。



TOPIC ●ビジョン ●設置物の説明 ●「F ASAGOHAN X ART experience @HIMEJI」の様子

2020年度報告予定  
2020年12月5日  
2021年3月31日

大手前みらい会議  
NewsLetter # 2021\_3

祝! 大手前通りが「ほこみち(歩行者利便増進道路)」認定!

令和3年2月、大手前通り活用チャレンジ2020「ミチミチ」がスタートして2ヶ月が経った頃、あるビッグニュースが飛び込んできました。国土交通省より、賑わいのある道路区間創出のための道路指定制度として歩行者利便増進道路(ほこみち)が指定され、その一つに大手前通りが選ばれたのです。これまでと比べ、道路の占有がより柔軟に認められ、民間の創業工夫を活用した空間づくりが可能になります。また、公募に選定された場合には最長で20年の占有が可能となり、テラス付きの飲食店など前期投資の高い施設参入しやすくなりました。

全国初の取り組みとして注目されている「ほこみち(歩行者利便増進道路)」プロジェクト、大手前通り活用チャレンジ2020「ミチミチ」も、これまで以上に多くの方から興味関心を寄せられることでしょう。

OMKメンバーのこれまでの尽力に対する感謝と、今後の更なる活躍への期待を込め、大手前みらい会議NewsLetter3月号をお届けします。



TOPIC ●ビジョン ●「ほこみち」認定について ●学生による活用アイデア